鹿児島市立桜丘中学校
令和５年１月２０日

第10号

入学試験とは自分と向き合うということ

校長　上久保大介

少し遅くなりましたが、**明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。**今年は卯年にあやかって飛躍の年にしたいという言葉が多く見られています。ぜひ、みんなが幸せに暮らせるような**平和な年**にしたいですね。

さて、３学期が始まって、学校は息つく暇もありません。**17日、18日は１・２年生鹿児島学習定着度調査**があり、生徒たちは真剣に解答に臨んでいました。**３年生は卒業後の進路に向けて**努力をしているところです。先日は**私立高校入試事前指導**が行われ、来週からは**私立高校入試が始まります**。体調を崩さないよう、細心の注意を払って万全の態勢で臨んでもらいたいと思います。１・２年生も３年生の真剣な取組を参考にして、来年、再来年の自分自身の姿を思い描き、進路選択をしてほしいと思います。

ところで、**14日(土)15日(日)は大学入学共通テスト**がありましたが、数年前、ある高校の教頭先生が当時のセンター試験を受験する高校生に送った、**激励の言葉**を思い出しました。

センター試験は人と競い合う試験ではありません。**自分と向き合う**ための試験です。そこで今日は君たちに『３Ａ』の言葉を贈ります。
それは**『あせらず』『あわてず』『あきらめず』**です。自分を信じて力を出し切ってほしいと思います。

最大の敵は自分の中にあると言うことでしょう。代表の生徒は「ここまで、しっかりと勉強してきたという自信を持って諦めず頑張っていきましょう。みんなでいい雰囲気でセンター試験に臨めるように頑張りましょう。」と挨拶しました。試験は個人の勝負ですが、それぞれの目標に向かってみんなで頑張ってきたという自負が、この言葉になったのでしょう。

人生には大きな決断をしなければならない節目がいくつかあります。高校生にとっての節目も、中学生にとっての節目も卒業後の進路です。しかも中学生にとっては最初の大きな試練でもあります。逃げたくなる気持ちも分かります。しかし、逃げていては解決になりません。人生は決断と行動の連続です。**強い意志とメンタル**をもって自分の弱い心に打ち勝ってほしいと願っています。前述の教頭先生がおっしゃった**「自分と向き合う」**とはそういうことなのかもしれません。

桜中の３年生よ！　**自分の進路目標に向けて頑張っていきましょう!!**